

12月行事予定

1	水	B時程4時間 安全指導・点検	▲
2	木	体育朝会	▲
3	金	避難訓練	▲
4	土	土曜授業日 相談日	▲
5	日		
6	月	放送朝会	▲
7	火	学芸会紹介集会	▲
8	水	B時程5時間	▲
9	木	学芸会(児童鑑賞日①)	▲
10	金	学芸会(児童鑑賞日②)	▲
11	土	学芸会(保護者鑑賞日) 土曜授業日 5時間給食あり	▲
12	日		
13	月	振替休業日	
14	火	放送朝会 歯科検診(4・6年) 教育相談週間始	▲
15	水	B時程5時間 歯科検診(2・5年)	▲
16	木	みなと科学館(6年)歯科検診(1・3年)	▲
17	金	避難訓練予備日	▲
18	土		
19	日		
20	月	放送朝会 クラブ活動	▲
21	火		▲
22	水	B時程5時間	▲
23	木	集会 給食終 教育相談週間終	▲
24	金	B時程4時間 終業式	▲
25	土		
26	日	冬季休業日始	
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	木		

▲は放課後遊びなし、○はあります。

- ▶12月4日(土)～12月10日(金) 人権週間
- ▶12月10日(金) 世界人権宣言が採択された日 人権デー

自分も相手も大切に

校長 齋藤 恵

国際連合は、1948年に世界人権宣言を採択し、1950年の総会において、12月10日を「人権デー」と決めました。そして、日本では、12月4日から12月10日までを「人権週間」と定めています。

「人権」とは、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」「人間が人間らしく生きる権利」です。学校教育においては、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」であり、その人権感覚を身に付けられるような教育環境づくりを行うことが必要であると文部科学省は述べています。

最近、「そしてバトンは渡された」という物語が最近映画化され、上演されました。原作は瀬尾まいこさんの同名小説です。この物語の主人公の優子は、高校生になるまでに名字が4回も変わるという環境で育ちました。幼いころに母親を亡くし、実父とも別れ、継母と暮らすようになりませんが、その後、20歳しか離れていない父と暮らすことになり、さぞかし辛く悲しく、苦勞をしたのではないかと周囲の人は思います。

しかし、優子には悲しそうな様子もなく、卑屈になることもありません。この物語に登場する「家族」となった人たちは皆、彼女にたくさんの愛情を注いでくれており、優子も、大切にされていることを感じながら素敵な大人に成長していくのです。

人は、周囲の人と関わり合いながら生きています。誰かの「あなたのことを大切に思っているよ。」というメッセージが人の心を強くし、優しくすると思うのです。文部科学省は、「女性」「子ども」「高齢者」「障害者」「同和問題」等、13項目にわたって人権課題を掲げています。これからの共生社会に向けて、どれも正しい理解や実践が必要です。まずは自分を好きになり、自分を大切にすることから始め、他を大切にできるように心を耕してしていきたいと考えています。

本校は今年、3年ぶりの学芸会を実施いたします。子供たちには、劇中のどの役も大事な役であり、全員で創りあげるからこそ素敵なのだということを、練習を通して伝えてきました。本番では、舞台の上で精いっぱい演じる姿に、温かい眼差しを注いでいただきたいと思っています。どうぞよろしく願いたします。

お知らせ

今年度、11月と2月の巻頭言は、副校長が担当します。

12月の生活指導目標

「学校をきれいにしましょう」

生活指導部 高野 さおり

いよいよ2学期も終わりに近づいてきました。ご家庭では年末の大掃除の計画を立て始める頃でしょうか。学校では、今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため、みんなでやる「掃除の時間」はありません。しかし、日頃から自分の持ち物や身の回りの整理整頓、共用の場所をきれいに使うことなどに意識を向けてきました。学期末に向け、これらのことを再度見直し、新しい年を気持ちよく迎えられるよう身の回りを整えていきます。

「夢ふくらむ 学芸会」

特別活動部 高橋 晶子

12月9日から11日まで、3年ぶりに学芸会が行われます。久しぶりの全校が一体となった大きな行事に子供たちの練習にも日々熱がこもってきています。

それぞれの学年にふさわしい演目で、一人一人が活躍し自分を出し切れるように、体の動かし方、声の出し方、セリフがない時の立ち居振る舞いなど、友達同士でも教え合いながら練習を重ねています。

大きな行事を乗り越えることで、成長する姿が見られることと思います。

ぜひご参観いただき、練習も含めお子様の頑張りに励ましの言葉を掛けていただくと幸いです。

今年度は、感染症対策のため、児童鑑賞日も2日間に分けて行い、保護者鑑賞日も総入れ替え制をとらせていただいております。保護者の方には、他学年を鑑賞いただかず申し訳ございませんが、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

プログラム及び受付時間や参観についてのお知らせは、11月19日に配布したプリントをご確認ください。

「箱根移動教室」

6年担任 山中 一弥

11月10日～11日まで、箱根移動教室に行ってきました。新型コロナウイルスの影響で、5年生の時には行くことができませんでしたので、今回が初めての宿泊行事です。今年度は、1泊2日ということや、コロナ禍なので制限がある中でも、子供たちは箱根移動教室に行けることに感謝し、胸を膨らませている様子が伝わってきました。

箱根彫刻の森美術館や小田原城、遊覧船に乗って関所跡へ行きました。大自然の中で走り回ったり、生き物と触れ合ったり、赤坂ではできない体験をたくさんしました。

入浴や就寝準備など、身の回りのことはすべて自分たちで行いました。困ったときに友達と助け合うことで、絆も深まりました。

また、「5分前行動」を意識し、自ら時計を見て行動することができるようになりました。

毎日当たり前のように過ごしている赤坂とは違う環境での生活。家族ではなく、友達と生活する機会はとても貴重なものです。今後も様々な壁にぶつかることがあると思います。そんな時も、仲間と協力して生活したことを思い出し、共に助け合い、支え合いながら成長してほしいと思います。

「栄養士より」

栄養士 田村 華絵

子供が苦手そうな魚や豆、野菜などもよく食べてくれる赤坂小の子供たち。切り干し大根の煮物やひじきふりかけをリクエストされます。残菜がゼロの日も珍しくなく、10月の残菜は1.04%でした。成長期の子供たちに必要な栄養を、給食でも御家庭でもおいしくとってもらいたいです。

また、給食前によく手を洗い、「いただきます」の挨拶の後にマスクを取って黙食をする子供たちの姿に、毎日感心しています。献立は、目でも楽しめるような彩りや季節感を大切に考えて作っています。給食時間を楽しく過ごせるよう、放送委員会が音楽を流したりクイズを出したりもしてくれています。「今日の給食好きなのばかり!」「いっぱいおかわりしたよ!」と言ってくれる子供たちのため、今後も調理員と協力しながら安全でおいしい給食を提供していきます。

「学習ルームより」

学習ルーム 福島 陵

学習ルームでは、学習やコミュニケーションといった子供たちの個々の課題について、それぞれに合った取り組み方や解決方法を身に付けられるよう指導しています。個別学習と小集団で行うグループ学習があり、子供たちはそれぞれの特性に応じた形で学習しています。

学習や対人関係でうまくいかない経験、困り感を抱えている子供たちも、「できるようになりたい」「うまく付き合えるようになりたい」といった思いをもっています。子供の話に耳を傾け、解決方法を一緒に考えていく中で、子供たちは一回りも二回りも成長していきます。

保護者の皆さんも、学習ルーム利用希望の有無に関わらず、学校生活でお子さんの成長について気になることがありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。